



「鹿沼公園がなくなるらしい」…そんな風のウワサを聞くようになったのは、2017年(平成29年)頃のことでした。ようやくtwitter(現X)を使うのに馴れてきたころのことで、市民による関連のつぶやきが頻繁になるのを、どこか他人事のように見守っていた気がします。行政が立てた計画を、「なに!? 駅前の公共施設の土地を売却して建築資金にあてるう!？」などいわずに驚くばかりでいたことを恥ずかしく思い起こします。

しかし、どうでしょう。未だ計画立案中の過程にあるとはいえ、鹿沼公園の交通公園も白鳥池もなくなるのではありません。地域市民も参加した「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会・有識者協議会」は2023年3月までに25回を数え、「まちづくりビジョン～鹿沼公園・公共施設再整備に向けて～」を策定。検討会の内容を伝える「次世代ふちのバニユース」は今年3月、25号を発行するまでに。

※淵野辺駅南口周辺のまちづくりの経過については、相模原市のHP(上記QRコード)を参照ください。

まさに「次世代」を展望する行政と市民のあり方を求めて、同じまちに暮らす市民の体験として共有したいと思います。他人事でなく自分事としてまちづくりを引き継いでいきたいと願い、9月22日、大野北公民館にて「鹿沼公園と淵野辺の未来を考える会」に集ったみなさんに懇談いただきました。

## 知りたい、から行政と対話を求めて次世代のまちへ

### そもそも淵野辺駅南口周辺公共施設再整備・地域活性化事基本計画が起きたのはいつ頃から?

(五十嵐) 報道前、2017年の市議会で質問があって、計画がさも決まったことのように出てきたんですね。こんな大きな事業を市民が知らないのはおかしいと思い、市議会レポートにしました。確かにまちづくり会議で施設の老朽化対策の要望はありましたが、公園の中に施設を集約してほしい、という要望があったわけではありません。市は、計画案の初期はまちづくり会議への報告をもって地域住民への説明としてきました。



五十嵐 千代志

(太田) 2017年の秋ごろ図書館に計画があるというチラシが置かれてました。ちょうどtwitterを自分がやり始めていて、発信し始めました。

(緒方) twitter上で「鹿沼公園」や「#鹿沼公園を守れ」のワードでたくさんアカウントが繋がりはじめていて、五十嵐さんからもダイレクトメールをもらったりして、とにかく共和小学校で行われる総合学習の公開授業に行ってみようということになりました。学校へ行こう週間、のなかで小学3年のまちづくりを考える総合学習で、市が説明するというのでのぞきに行ったんです。子どもたちがインタビューして市の方が答える形式で、何か、公園のなかに建てるみたいなのが既定のような話でした。

(五十嵐) 市が主催の説明会は1回だけで、市は要望があれば何回でも行なうと言っているの、途切れることなくあちこちでやってもらうことが大事ですね。

(今) 当時はSNSを使っていなかったので、計画を知りませんでした。自治会長が「関心のある方いらっしゃいますか?」と貼り紙をして呼びかけてくれました。声をあげてくれる人がいなかったら、私は気づくのも遅く、見ているだけだったかもしれません。自治会からの呼びかけだったので、安心して参加できたことも良かったと思います。市に要望して、自治会向けに独自に説明会も開かれました。自治会のなかで話し合える関係ができていた



今 兼保 伸之

ということかもしれません。隣近所で信頼できる人というのがないと言葉がはいつてきません。

(五十嵐) メールやり取りなどが何回かあって、みんなで集まりましょうと声かけて、市の説明会の1か月前ぐらいに「未来を考える会」ができます。とにかく市の説明会に行きましょう、と呼びかけるチラシを連日増し刷りして1万枚以上をポスティングしました。図書館で行われた説明会当日には、補助イスを出しても入りきれませんでした。即座に2回目の開催が決まりました。

(緒方) 青少年学習センターが矢部地区から移転するのは子どもたちにとっても大ごとで、子どもたちへの説明会も開催してもらいました。子ども向け資料を市も用意してくれて。公園という魅力的な場所への思いもあるわけで、子育て中のお母さんの位置づけがすごく大きかったと思います。

(太田) 説明会はSNSやyoutubeの中継もやりました。パブリックコメントも集まり、集計は年度内に終わらせませんでした。

(五十嵐) 関心を高めて、とにかく知ることから始める。政治運動にはしない。まだ市民要望の説明会も終わらない、パブコメもまとめてない。そんな状況もあって「日程ありき、制度ありきの方向では進めていけない」という市長の発言を引き出すことができた。

(今) 公募委員6名という市民検討会が発足し、公募委員になれましたが、意見交換とは思えない検討会が続きました。

### 意見交換ができるようになったきっかけは?

(今) 職員さんが変わったことかな。公民館まつりに来てくれたりして、一緒に取り組む仲間と感じられるようになってうれしかった。ファシリテーターを入れたり、オープンハウスなど市民の意見を聞いてくれる姿勢に行政もなってくれた。

### 変わるし、変えることもできるってこと? こうした経過を経て、今、いちばん何を得られましたか?

(緒方) やはり出会いでしょう。知らなかった人と出会えた。こうして懇談できる関係が生まれた。(笑)

次世代のためにできることといえば、わずかなが弱すぎるほどの覚悟

鹿沼公園・白鳥池から交通公園を望む(2024年10月1日撮影)





紙  
上  
カ  
フェ

■相模原市は、南区合同庁舎の長寿命化改修を計画しており、本年度内2025年3月まで)に「南区合同庁舎のあり方基本構想」を策定することになって  
います。「合同庁舎」なので、大野南公民館と南市民ホールも含まれて  
います。ご承知の通り、南市民ホールは昨年度末の条例制定によって2026  
年3月で閉館することになっています。

■しかし、南市民ホールの廃止根拠となっていた「相模原市行政構造改革  
プラン」は、当初の歳入・歳出見込みを越えて、財政の健全化が見込まれるこ  
とになったため、2025年3月までに前倒し終了となります。昨年、何度も行  
われた南市民ホール廃止についての説明会では、圧倒的に存続を希望する市

※本紙面の構成には「季刊 相模原 市民がつくる総合雑誌 アゴラ」の  
84, 85, 100号を参照させていただきました。

民の前に、「お金がない」という説明に口を閉ざさざるを得なかったにもか  
わらず、実は「お金はある」ということになったのではないのでしょうか？ 肝  
心の南市民ホールはまだ、開館されているあいだに「財政は健全化」したと  
いうことになります。

■南市民ホールだけでなく、そもそも、公共施設はわたしたち市民のために存  
在し、わたしたちの未来にわたるまちづくりビジョンを抜きにして語るこ  
とできないものです。老朽化し、時代に合わなくなり、手狭になったから修繕する、  
という理由と視点だけで、南合同庁舎の修繕計画を語ることはできません。

■わたしたちは、わたしたちのまちづくりを行政に伝えていいし、伝えなくて

はなりません。自分たちのことなので市に任せきりにするのではなく、  
市と対話できるし、すべきなのではないでしょうか？

■そう考えて、地域を見渡してみたら、淵野辺駅南口再開発に向けて、市民  
と行政が対話を重ねて基本計画を策定した事例を直近に見ることができると気  
づきました。同じまちの市民がどのような思いで、鹿沼公園や図書館を淵野辺  
を次世代のために位置付けようとしたか、そこにどのような動きがあったか。  
あらためて、その経緯をのぞいてみると、市民的共感と学びがあります。

■ここに、淵野辺のみなさんのつづやきを拾い集めて紙上カフェを構成して  
みました。市は、今後、南区合同調査の長寿命化に向けての基本計画策定を前  
に市民に意見を求めていく、としています。 さあ、わたしたちも主体性をもっ  
て、次世代に向けて未来を語りませんか？

2017年5月

「まちづくり会議で  
みなさんからいただいた  
ご意見をもとに策定した  
という説明会の言葉に」

このチラシから「鹿沼公園と淵野辺の未来を考える会」が誕生

ええ〜  
鹿沼公園が  
なくなるっ

公園の風景  
が変わるの  
いやっ

交通公園なくなるの?!  
あそこで自転車乗れるように  
なったんだよ、わたし

じゃあ  
わたしたちにとって  
公園ってどんな場所?

白鳥は?  
白鳥はどう  
なっちゃうの?

駐輪場は駅前が  
便利なんだよ。  
駅前の土地、誰に売んの?

このころ twitter に  
#鹿沼公園を守れが登場  
それまで面識のなかった人たちが  
SNSを通じて「一度集まりましょう」に。  
知ってもらい、意見交換をメインにするのだから  
署名のような政治活動にはしない、と合意。

とにかく  
パブリックコメント  
パブコメを出そう!

2017年12月

パブコメは352人から914件  
の意見が出され 当初2018年  
3月までに基本計画がでるはずの  
ところ、パブコメの集約が5月  
まで延期され計画そのものが  
再検討されることになった。

ツイッターを通じて、  
それまで全く繋がりのない方々と淵野辺南  
口のまちづくりについての話題で、毎日  
のように、世代を越えたメンバーと、議論や検討  
を繰り返し、淵野辺の地域の良さを最低限残  
せたと思えること、しっかりとした繋がりを  
作ることができたことが良かった。

2018年5月

「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺の  
まちづくり市民検討会」が立ち上がる

2019年3月

オープンハウスって、  
なに?

つつい住宅展示場を  
イメージしてしまいましたが、行政が内部で検討して  
いる内容を公開(オープン)すること  
から「オープンハウス」と呼びます。  
ワークショップ等とならぶ、説明と  
意見を聴き取るための手法です。  
オープンハウスでは、説明パネルや資料  
を展示、来場者に担当者が直接説明します。  
事業概要を説明しながら意見を聴取するので、  
市民説明会に参加できなかった方や、事業の  
ことをあまり知らない方など、関心を持って  
市民説明会に参加できる方は異なる方々の  
意見を聴取することができる利点があります。  
通りがりの方も気軽に参加できますね。

クリスマス間近い金曜の  
夜の説明会に補助イ  
スを出しても入りきれない  
市民が参加。その場で  
追加説明会が決まりました。  
さらに呼びかけチラシを配布



before  
2018年1月の  
説明会で市民の  
声を聞く市職員  
こんなに  
変わるんだ!  
変わるんだ!  
わたしたち!!



after

2023年6月大野北公民館まつりにて  
子ども向けオープンハウス  
子どもたちの意見を聞きとる市職員さんたち  
子どもたちのための説明会を要望し  
開かれました。上は子どもたち向けチラシ。(黄色いバンダナを付けているのが市職員さん)

鹿沼公園のことは、タウンニュースで見たのが最初だ  
ったと思います。毎日通勤で通って、行きも帰りも癒  
される場所だし、うちの子と遊んだ場所だし、お花見  
の場所でもあるし、そんな公園内に駐輪場や建物を建  
てるなんて、市立図書館のモダン建築も好きだっ  
たので、壊すなんてのもってのほかだよ。

数年前から、リニアの学習会に出ていて、相模原は、  
何かおかしくなってきたなと感じていたの、まさか淵  
野辺にまで開発の手が伸びるとはと驚いた。そんな流  
れもありました。  
そんなふうに危機感を覚えたのは、やはり震災と福島  
のことがあったんだと思います。福島への転勤者の子  
で県人会に入ったのもそれだったし、一度失ったら元  
には戻れない。後から後悔しても遅いんだと。自分た  
ちは福島で何とせよ、間違ってしまったけど、相模原  
の子どもたちに同じ間違いを残してはいけない、と。  
文字にすると綺麗事ですけど、それは大きかったと思  
います。震災までは、市政も地域活動も全く興味なかつ  
たのですから。そんな中で、活動を SNS で知り、相  
模原にもそういう方たちがおられるんだと。あの図書  
館での説明会に行ってみた。そんな経緯でした。  
(小張 学)

テーマが公園だったから関心も高まった  
公園をテーマにイベントを行って  
あらためて鹿沼公園の良さを発見する

ポストされた再整備計画に関する市民説明会のチラシがきっ  
かけでした。その後うちのマンションの住民の方らしき方のポスト  
チラシも入り、自分と同じ気持ちの方が多くいらっしやると感じて、ど  
うにかしたいと思って市民向け説明会に参加しました。説明を聞いて  
も、あまりにも検討不足で「公園内ありき」の計画だったので、こ  
のままでは将来世代に禍根を残すと危機感を感じて、市民検討会に  
応募しました。

現在、市の経営評価委員会という、市の行政構造改革プランや  
今後の施策に対して意見を伝えることのできる委員会の公募委員をし  
てます。そこでは淵野辺の件だけというより市全体に関わる内容とな  
りますが、少しでも自分の、市民の立場からの意見を伝えて、  
市職員の方々が新たな視点を得て、より良い施策につな  
がるよう願って参加しております。  
淵野辺の件に関しては、市からの発表や広報誌等をこまめに  
チェックして、情報を待っている所です。何か動きがあればま  
た関わっていきたくて考えています。大好きな街なので、  
将来世代に いい形で残したいのです。  
(荻野弓希子)

2023年3月



市民意見を踏まえたまちづくりビジョン策定  
鹿沼公園の軟式野球場と水生植物池はな  
くなり、休憩できる空間やピクニックやイベントが  
できる多機能な広場も検討していくことになった。

# 相模原市は、南区合同庁舎のあり方基本構想を策定します

2025年(令和7)3月までに

(南区役所・大野南公民館・南市民ホール・青少年相談センター南相談室など 8,452 m<sup>2</sup>)

## ～わたしたちのまちの わたしたちの子どもたちに引き継ぐ施設だから 気持ちを寄せて～

### アンケートしての知ってた?

1983年(昭和53年)竣工の南合同庁舎は老朽化が進行しており、相模原市の一般公共建築物長寿命化計画のもとに改修工事を実施することになっています。そして、今年度を目途に周辺施設を含む施設のあり方を検討し、基本構想を策定することになっています。すでに、今年6月19日から7月31日まで市民アンケートが実施され、435件のサンプルを得て、現在、集計作業が進められています。

しかし、アンケートが実施されていたことを知らない市民も多いのではないでしょうか? アンケートは全部で5問。うち【設問4】が下記のものでした。

### 南区の行政と市民の活動拠点?

市が考えているタイムスケジュールはこのようになっています。



そして、時代の要請による行政サービスの充実と、より身近で多様な市民活動を支える複合施設を目指して、



3つの基本方針をまとめています。図にすると、左下図のように①行政サービスの拠点②市民活動の拠点③安心・安全の拠点というわけです。曰く「みんなが集う魅力あふれる南区のランドマーク」を目指す、と。例えば、具体的な市民活動の拠点として、「キッチンカー等の設置ができる屋外イベントスペース兼駐車場」などという説明が添えられています。



しかし、もともと市民が集う文化拠点であった南市民ホール、地域交流の主体でもある大野南公民館の役割をどのように維持できるのか、市民目線の基本構想になっているのでしょうか?

### オープンハウスに集い、意見を持ち寄りましょう!

市は今年11月から12月にかけてオープンハウスを行い、市民の意見を盛り込んで基本構想を立てるとしています。ぜひ、みんなで次世代につなげる意見を持ち寄りましょう!

### 【設問4】今後の南区合同庁舎のあり方として、必要・重要だと思うサービスや機能、設備などを教えてください。(✓は3つまで)

<input type="checkbox"/> 多様性に配慮したトイレやバリアフリー対応設備	<input type="checkbox"/> ゆとりある待合スペースや通路	<input type="checkbox"/> 様々な市民活動に利用できる貸室
<input type="checkbox"/> 1か所ですべての手続きができる窓口	<input type="checkbox"/> プライバシーに配慮した窓口や相談室	<input type="checkbox"/> わかりやすく、使いやすい諸室の配置
<input type="checkbox"/> こども連れでも利用しやすいキッズスペースや授乳室	<input type="checkbox"/> 気軽に利用できるオープンスペース	<input type="checkbox"/> イベントも開催できる屋外広場やロビー
<input type="checkbox"/> 観光などの情報発信機能やスペース	<input type="checkbox"/> 交通アクセスの充実(駐車場・公共交通機関)	<input type="checkbox"/> 自然エネルギーの利用による省エネルギー化
<input type="checkbox"/> 災害時に防災拠点になる場所	<input type="checkbox"/> 上記の選択肢以外(具体的に: )	

▲今年6月から7月にかけて実施された利用者へのアンケート あなたは、どんなサービスや機能、設備があると思いますか?

### クリップ・ボード

### ■ここdeシネマ番外編 受け付けてます

『こころの通訳者たち』

### ▼巡回上映会開催規定

上映会の出前します!  
10~30人くらい  
会場はご相談にて  
有料上映会のとき  
参加費用  
ひとり1000円  
無料上映会のとき  
別途規定あり  
プロジェクター貸出ます  
申込は ここずっとへ。



### ■お店やイベントなどをユニバーサルデザインにするお手伝いをいたします。

UD さがみはら

- ・音声コード・字幕・音声ガイド・道や会場案内など相談対応。
- ・NPO法人ここずっとは2024年4月より、相模原市との市民協働事業「UD普及・啓発事業」に取り組んでいます。
- ・『UDさがみはら』を年3回(7・11・3月)、相模原市と協働で発行しています。お手にした方は、どうぞ、ご連絡ください。

■ NPO法人ここずっとは 市民相談窓口を開いています。相談は☎042-851-5646へ。

## Information

ここdeシネマ第23回 特別回はひとり芝居

11月8日(金)

開場 PM 6:00 ~  
開演 PM 7:00 ~

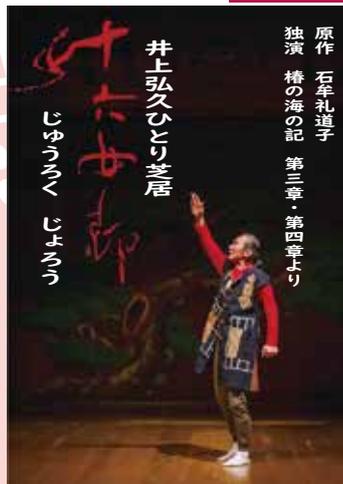
会場■相模原南市民ホール

共催:「水俣」を子どもたちに伝えるネットワーク  
※中学生以下と介護者は無料  
※チケットはびあかセブンイレブンで  
参加費 1000円  
Pコード: 529357

終演後にトークあります。

終了予定は 21:00  
お問い合わせは、

このまちの役者がこのまちから石牟礼道子の世界を発信する。さあ、一緒に一緒に落着る椿の花の行方まで。不知火の海に落ちる椿の花の行方まで。



出演・構成・演出 井上弘久  
音楽: 吉田 水子 / 不知火海のテーマ作曲: 金子 忍  
題字: 栗原光華 / 舞台写真: スズキマサミ

『フリー情報紙

ここずたうん』 No.25

[発行日] 2024年10月

[発行者] NPO法人ここずっと  
〒252-0303 南区相模大野9-6-18  
ここずたうん編集室



ご意見、投稿、記者志望者はここずたうん編集室へ

[TEL] 042-851-5646 [FAX] 042-742-0447

[E-mail] info@cocozutto.jp

※ここずたうんはまちづくりを考える【NPO法人ここずっと】が発行しています。